

第 17 回 札幌開発建設部遊水地事業監理委員会 議事要旨

【開催日時】 令和 7 年 10 月 28 日(火) 14:00~15:30

【開催場所】 江別河川防災ステーション

【委 員】 ◎ 加賀屋 誠一 (北海道大学 名誉教授)

黒木 幹男 (N P O 法人 環境防災研究機構北海道 代表理事)

佐藤 善文 (寒地土木研究所 寒地農業基盤研究グループ長)

平澤 亨輔 (札幌学院大学 名誉教授)

矢部 浩規 (寒地土木研究所 寒地水圈研究グループ長)

※◎は委員長 (50 音順)

【議 题】

1. 審議

北村遊水地

- ・工程管理について
- ・事業費管理について

【議事要旨（委員会意見）】

- ・越流堤については、模型実験の結果も踏まえながら、千歳川遊水地群の事例も参考にして詳細設計を進めていただきたい。
- ・用水路の浮上対策（パイプライン化）について、軟弱地盤上での整備のため不等沈下による管体への影響が懸念されることから、より慎重に設計・整備を進めていただきたい。
- ・盛土材料の造成にあたり、養生日数の変更によりセメント添加量を低減することでコスト縮減を図っているが、アルカリ分の溶出量も低減されることで環境への負荷を減らすことも一つの効果と評価できる。
- ・遊水地の管理設備について、千歳川遊水地群など他事例を参考にしながら、計画的に施設の運用や管理手法など実運用に向けた検討を進める必要がある。
- ・遊水地の管理のあり方を地元や関係機関と協議しておく必要がある。
- ・流木捕捉施設は、専門家の意見や類似研究等を踏まえた施設検討を行っていただきたい。
- ・令和 5 年に事業費及び事業期間の変更を行っているが、昨今の物価高騰も踏まえつつ、引き続きコスト縮減に努め、令和 12 年の完成に向けた事業監理の徹底を図ること。

以上